

UNIXユーザーザハのメッセジ  
～初心者へ、そして先行者へ～

法林 浩之

日本UNIXユーザ会  
hourin@suplex.gr.jp

## 今日の演題

- 「UNIXユーザーザハのメッセジ」～初心者へ、そして先行者へ
- ～「
- 初心者へ
- UNIXの特徴を知ってもらおう(特に、技術的でないこと)
- UNIXの上達法(と私が思っているもの)を教える
- UNIXの楽しさが伝わればうれしい
- 先行者へ
- ここでは「先輩」の意(中国製ロボットではない:-)
- よき先輩のあり方を考えたい

## UNIXの歴史(簡単に)

- アメリカ原産(30年前ぐらい)
- 日本に入ってきたのは20年前ぐらい
- インターネットの基盤となる(15年前ぐらい)
- 最初はUNIXシステムをこなすネットワークだった
- 大型コンピュータの置き換えで普及(10年前ぐらい)
- コンピュータの性能向上により、個人用PCでもUNIXが動
- <ように(5年前ぐらい)

## 機能面でのUNIXの特徴

- 基本設計の良さ
- もともとOSの研究として作られてきた
- 安定した動作
- 30年にわたって多くの人に使われ、改良され続けてきた
- インターネット関連に強い
- 長い間インターネットを支えてきた実績
- 1台でサーバにも端末にもなれる
- プログラムの公開されているものが多い(オープンソース)
- 自主的に改良してよい
- コマンドによる操作が中心
- 基本設計は良いが、30年前なのでGUIはなかった
- 人によって、向き不向きがあるような気がする

## 自己紹介

- まずはGoogleで「法林浩之」を検索してみよう
- 日本UNIXユーザ会(us)の幹事
- 日本最古のUNIXユーザグループ
- UNIXおよびインターネットのユーザグループ活動に数多
- <参加
- 裏方をやっていることが多い(実行委員とか)
- 過去1年間の主な活動
- オープンソースまつり 2001 in 秋葉原  
<http://matsuri.opensource.gr.jp/>
- Linux Conference  
<http://lc.linux.or.jp/>
- Internet Week  
<http://iw2000.nic.ad.jp/>
- 3月に会社を退職して、現在求職中

## UNIXとはどういうOSか

- 歴史
- 流派
- 機能面での特徴
- 思想面での特徴

## いろいろなUNIX

- 30年の間に、たくさんの流派に分かれた
- コンピュータメーカーが作るUNIX
- Solaris, HP-UX, MacOS Xなど
- 通常はコンピュータ本体とセットで売る
- 有志が集まって作るUNIX
- Linux, FreeBSDなど
- 細かい所は異なるが、コンピュータ業界全体から見れば似たようなもの
- 「UNIX系OS」と呼んだりする

## 思想面でのUNIXの特徴

- UNIXは「開かれたOS」
- プログラムも含めて情報が公開されている(オープンソース)
- やる気があれば自分で改良できる(バグ修正、機能拡張など)
- 改良の成果がOSに取り込まれる
- たくさんの人の努力の結晶
- みんな対等な関係
- やる気があれば誰でも参加できる
- 各自が提供できる物(労力/金を出し合って開発(バーベキュー方式))
- 各自は対等な関係、つまり「仲間」
- インターネットの影響かも

## UNIXユーザーの仲間意識

- 登山者や旅人同士のつながりと同じものを感じる
- 皆それぞれ目標は異なるが、同じ道を歩く仲間
- 人数が少ない(コミュニティ業界全体の中では)
- 助け合いが必要
- 根底にあるのは、相手に対する信頼感

- 初心者
- 初めて登山する人が登山口に来たようなもの
- 先行者
- もう山登りをしている人
- 初心者を目の前にしている人
- 初心者、先行者はどのように行動すればよいか

## 初心者へのメッセージ

- 目標を持つ
- とにかく使ってみよう
- できるだけ使っ機会を増やす
- 仲間を作ろう
- 基本は「自力で歩く」
- 質疑応答はグループで共有
- 「自分にもできること」を見つけてよう
- 感謝の心を忘れずに

## 目標を持つ

- インストールして終わりではない
- インストールは登山用具をそろえるようなもの
- UNIXを何に使うのかを考える
- Webサーバを動かしたい
- プログラムの作りたい
- データベースを作りたい
- モバイルコンピュータをした、など
- なんでもよいが、何か決めておいた方がよい
- 立てた目標によって、使い方が変わってくる

## とにかく使ってみよう

- 本を読んでいるだけでは上達しない
- DOSがよい？
- 「LinuxとFreeBSDのどちらがいいでしょうか」
- 「Linuxはどのテキストリビジョンがいいでしょうか」
- 答え
- 細かい所は異なるが、どれも「UNIX系OS」なので大差ない
- OSの選び方
- 自分が使う気になりそうなものを選ぶ
- 身近にUNIXを使っている人がいたら、同じものを選ぶ(環境をまねる)
- UNIXを使っている人を探す→ユーザーズに参加

## できるだけ使っ機会を増やす

- 最初に決めた目的に向かって環境を整える
- ソフトウェアのインストール、設定など
- 実際に手を動かして作業するのがよい
- たくさん練習した方が上達する
- 習い事と同じ
- 一番いいのは、日々の生活に取り入れること
- 仕事で使う
- 家庭用ゲーム機なりにハマる(-)
- 必ずしもできるとは限らないので、可能な範囲で取り組む
- 新しい作業をしたら、作業記録をつけておくとうい
- どういうコマンドを打ったか
- 参考にした文献、Webページなど
- 後日、同じ作業をするときに役に立つ

## 仲間を作ろう

- 1人で進むよりも仲間がいた方がいい
- 困ったときに助けてくれるかもしれない
- 自分も、困っている人を助けてあげられるかもしれない
- ユーザーズやメーリングリストはそのためにある
- 興味があれば積極的に参加しよう
- 仲間は助け合う存在であって、自分が一方的にサポートを受け存在ではない

## 基本は「自力で歩く」

- 誰かがサポートしてくれることをアテにしない
- 自助努力が必要
- わからないことがあったら、調べる
- 本、雑誌、Web
- UNIXのmanコマンド
- 調べてもわからないときは、質問する

## 初心者、先行者を登山にたとえると...

## 質疑応答はグループで共有

- 特定の先輩なんでも質問してはいけない
- 先輩達もそれぞれの登山に忙しい
- なんでも知っているわけではない
- 質問は、特定の人でなくグループに向かって行うとよい
- ユーザグループの集会、ミーティング、掲示板など
- 自分が答えるときも同じ
- 「ask someone who knows」
- グループで質疑応答する効果
- 読者が多いほど、答えをもらえる可能性が高くなる
- 同じことで悩んでいる他の読者も救えるかもしれない
- 「誰かが答えてくれるかもしれない」の心で回答を待つ
- 回答があったら礼を言う

## 感謝の心を忘れずに

- たくさんの人の努力のおかげでUNIXを使うことができる
- 何も貢献できなくても、これだけは忘れないで欲しい

## 初心者が参加しやすいユーザーグループに

- 常に門戸を開けておく
- グループへの参加方法を公開しておく
- 閉鎖的にならない
- 閉鎖的なグループはいつか活動が衰える
- 雰囲気作りも重要
- 初心者には積極的に話を振るとか
- 初心者も先行者も「仲間」です

## 質問には素直に答える

- 答えを知っているなら素直に書こう
- 知ってるくせに「調べましょう」とか言わない
- わざとひねくれた回答をしない
- 余裕があれば、調べ方も教えてあげるとさらによい
- あまりに事務的な回答もよくない
- 一応「仲間」なんだからあいまっからいしよう
- 質問の仕方がへたな初心者も多いが、寛大に
- 自分もかつては初心者(つまり同じようなレベル)だったことを忘れてはいけない

## 「自分にもできること」を見つけてよう

- なんでもいいから何か貢献しよう
- フロントラムを書いただけが貢献ではない
- 文章を書く
- 集会を開く
- お金や物を提供する
- 質問に答える
- 「自分はともそんなレベルではない」とは思わないように
- 難にでも、できることはいくらでもある
- 自分にしかできないこと、誰もやっていないことを探す必要はない
- 「自分にもできること」を見つけて実行すればよい

## 先行者へのメッセージ

- 先行者とは(再掲)
- もう山登りしている人
- 登山口に来た初心者を目の前にしている人
- ミーティングリストなども入れると、初心者は常に目の前にいる
- よき先輩のあり方を考える

- 初心者が参加しやすいユーザーグループに
- 手本にされる存在であることを自覚
- 昔話よりも未来を語る
- 質問には素直に答える
- 他のグループと仲良くする
- 忙しくなったら

## 手本にされる存在であることを自覚

- あなたは自分が思っているよりも有名です
- 特に常連参加者/投稿者
- よき手本になろう
- あの人の環境をマネしたい、とか
- UNIXが好きなら楽しそうに使おう
- 初心者に「UNIXは面白そうだ」と思ってもらえるように
- 圧力でなく魅力でユーザーを増やしたい

## 他のグループと仲良くする

- 特にLinuxとBSD
- コンピュータ業界全体から見れば、どのUNIXも似たようなもの
- UNIXユーザーは少ない
- Windowsと比べれば圧倒的に少ない
- 僕たちは特殊なコンピュータを使っていると思っただ方がいい
- 少ない人数だからこそ助け合いが必要
- 少ない人数でつぶし合いをしてはいけない
- 昔、UNIX同士の争いで失敗したのを繰り返してはいけない
- 「UNIXユーザーな兄弟」

## 昔話よりも未来を語ろう

- 最近、昔話をする人が多い
- UNIXには未来がないのかと思われそうで個人的にはちょっとイヤ
- UNIXは昔を懐かしむためだけに存在するのではない
- 立派な現役の実用システム
- これから伸びる可能性も十分ある
- 今後の展開を語り合いたい
- 希望を添えて UNIXユーザにも世代があるらしい
- <http://namazu.org/~satoru/misc/ggap.html>
- 世代を超えて仲良くしよう

## まとめ

- UNIXユーザに伝えたかったことをいろいろ話した
- 初心者へ
- とにかく使ってみよう
- コミュニチの人達と一緒に歩こう
- UNIXは、楽しい
- 先行者へ
- 先輩としての自覚を
- 初心者を迎え入れやすい場を作る
- 「UNIXは、楽しい」を伝える
- 圧力でなく魅力でUNIXを広めたい
- 今日の発表資料
- <http://www.suplex.gr.jp/~hourin/okinawa200106/>

## 忙しくなったら

- 忙しくなると、いろいろなものが負担になる
- マーケティングのメール
- イベントの幹事 など
- 忙しくなったら、活動を選ぶ
- 自分のできる範囲で活動
- 新しい人に活動をまかせること重要
- 疲れたら、おとなしくする
- マーケティングで暴れない
- たくさんメールが来る人は、処理能力を上げる工夫も必要
- 全く読まないマーケティングは抜けた方がいい